

平成 22 年度【「基礎・基本」定着度調査】 結果の概要をお知らせします

実施期日

平成 23 年 1 月 13 ～ 14 日

実施学年

小学校第 5 学年
中学校第 1・2 学年
県内すべての公立小・中学校で実施

実施教科

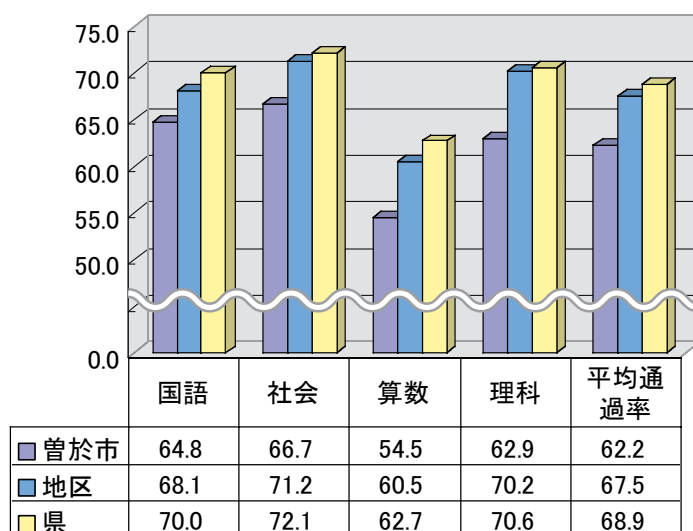
小学校 国語・社会・算数
理科
中学校 国語・社会・数学
理科・英語

調査の趣旨・目的

基礎的・基本的な内容及び活用する力について、県全体の定着度の状況を把握することにより、各学校等での指導法改善の取組を支援し、児童生徒の基礎学力の向上を図るために実施しています。

この調査結果は、学力の特定の一部であり、児童生徒の学力のすべてを表しているものではありませんが、結果を把握・分析することにより、学力に関する課題を明確にし、その改善を図ることに役立てていきます。

<小学校 5 年生>

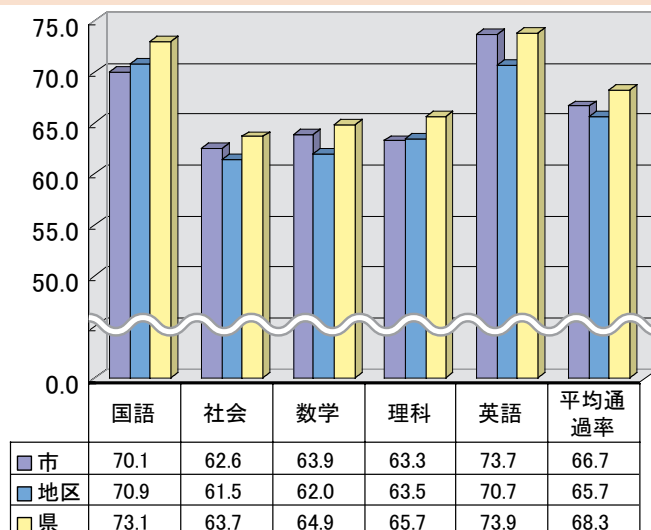


曾於市の通過率*は、4 教科とも地区・県の平均通過率に届いておりません。

特に、算数は 60%を下回っており、式・図・表・グラフ等の読み取りから、自分の考えや解決方法を筋道立てて説明するなどの数学的な思考力・表現力に関する指導を更に重視した細かな指導が大切です。

また、学校と家庭が連携して、「読み・書き・計算」の練習を毎日繰り返し行うことも求められます。家庭学習 60・90 運動をもとに、テレビ視聴時間を考えた計画的で自分から取り組む家庭学習を行うことが、学力向上につながります。

<中学校 1 年生>

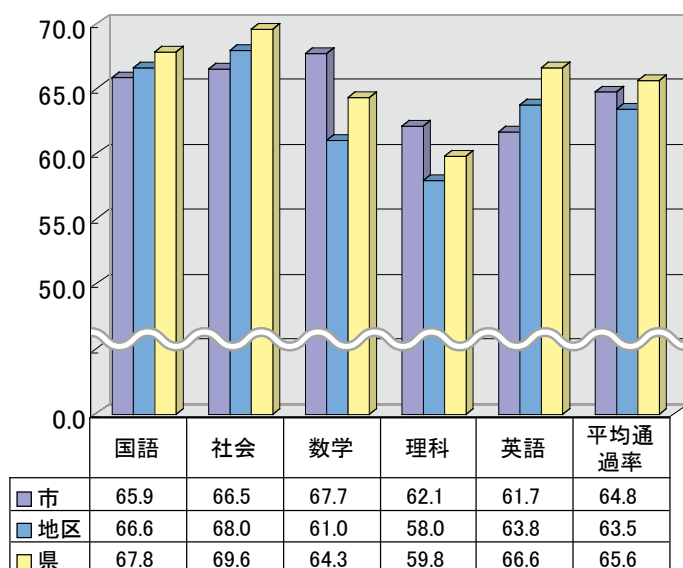


曾於市の通過率は、社会・数学・英語が地区の平均通過率を上回っています。また、国語も 70%を超えており、概ね基礎・基本の定着は図られています。理科においては、今まで以上の努力が必要です。特に、観察・実験などの直接体験を重視し、学習内容と生活の中の事象とを関連付け、実感を伴った授業を展開することが大切です。

中学校 1 年生においても、家庭学習 60・90 運動をもとに、毎日の自主的な「読み・書き・計算」で力をつけていくことが大切です。

※通過率とは、各設問ごとに正答した児童生徒の数を、調査実施児童生徒数で除したものをいいます。

＜中学校 2 年生＞



曾於市の通過率は、数学・理科が県・地区の平均通過率を上回っている以外は、すべての教科で下回っています。国語では、「書くこと」について課題があることから、文章や図表・グラフを使って思考を整理し、自分の考えをまとめ、記述する力の定着を図っていくことが大切です。

英語では、「表現の能力」及び「言語知識」について課題があることから、「書くこと」の力を高めるための指導が必要です。そのためには、音声による表現の練習を行った上で、文字による正確な表現の定着を図ることが大切です。

『市の学力向上への取組』

1 そおっ子の「夢」育み支援事業の推進

オリンピックで活躍したトップアスリートや芸術家等を招き、講演や実技をとおして知識や技能を学ばせ、豊かな心や感性を育むだけでなく、夢や目標、そしてこれをエネルギー源とする「やる気」をもって努力することの大切さを学ばせます。

【これまでの講師たち】

- 藤本 美加（バルセロナオリンピック、アトランタオリンピック女子バレーボール選手）
- 高山 樹里（アテネオリンピック女子ソフトボール選手：投手）
- 武田 双雲（NHK大河ドラマ「天地人」の題字を書かれた書道家）
- 遠藤 彰弘（Jリーグ選手、アトランタオリンピックサッカー選手）
- 宇津木妙子（シドニーオリンピック、アテネオリンピック全日本女子ソフトボール監督）など

2 市学力向上対策研究協議会の充実

(1) 「指導と評価」フォーラム開催（平成 23 年 8 月 1 日：末吉中央公民館）

全職員を対象に、大学教授（中教審委員）を講師に招き、学力に関する各種検査を具体的に生かすための実技講習会を開催し、教職員の指導力向上を図ります。

(2) 「夢」実現チャレンジ講座の開催（平成 23 年 8 月 2、3、4、9 日：末吉総合センター）

市内のそれぞれ異なる中学校に在籍する生徒たちが一堂に会し、切磋琢磨しながら学習することで、より明確な学力向上への意欲を喚起するとともに、基礎学力の確実な定着を目指します。

また、高校の専門性を生かした学習に触れることで、学ぶ楽しさや学問への興味・関心を高め、将来への大きな志や夢を育むとともに、高校進学への意識を強化することにより高い目標に向かって取り組む意欲を喚起します。

(3) 市学力向上共通実践（重点指導）事項等の推進

- ア 電子黒板等を活用した I C T 機器の効果ある活用を図ります。（デジタル教科書の積極的活用）
- イ 鉛筆の正しい握り方、大きな声での発表など、学習のしつづけを徹底します。
- ウ 速読・速書・速算などの三速運動を推進します。
- エ テレビ・ゲームの時間を短くして、家庭での学習時間を十分に確保した家庭学習（60・90 運動）を推進します。

(4) 教師力向上講座（夢実現支援者の集い）の開催（平成 23 年 8 月 10 日：末吉総合センター）

児童・生徒の学力向上を図るために、教師自らが「指導力向上」を目指して、研修を深めます。